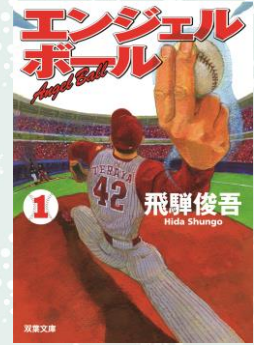


『小夏と麦の物語』刊行記念

飛驒俊吾さん



『エンジェルボール』

を語る

因島が舞台の小説・カープ優勝物語・広島本大賞受賞の『エンジェルボール』。「愛するものすべてを幸せに、それが、わしの願い」主人公(42才)が家族の絆を大切にする感動物語。この作品の誕生秘話や広島本大賞のこと、舞台化された劇団のこと、そして、新作『小夏と麦の物語』のことなどをお話ししていただきます。

日時

12月24日(月)

11:30~12:30

場所

因島図書館 視聴覚室

定員

40人(要申込)



人間に寄り添う小さき命一。トイプードルの“小夏”と猫の“麦”がそれぞれの家族と共に過ごした温かくも穏やかな日々を描く二つの感動物語。

い だ し ゅん
飛 驒 俊 吾



1964年生まれ。神奈川県横浜市出身。会社勤めの傍ら小説を書き続け、長編小説「エンジェルボール」を電子書籍で個人出版。各方面から好評を博す。2015年、大幅な加筆と再編集を経て『エンジェルボール』(全4巻)を文庫化し作家デビュー。各メディアで絶賛されると、2016年には同作品で第6回広島本大賞小説部門の大賞を受賞。同年9月には初の短編集『穴おやじ』を刊行する。そしてこのたび、二年ぶりとなる新刊『小夏と麦の物語』を双葉文庫より刊行。



主催：尾道市立因島図書館 (☎0845-22-8660)

後援：因島読書会